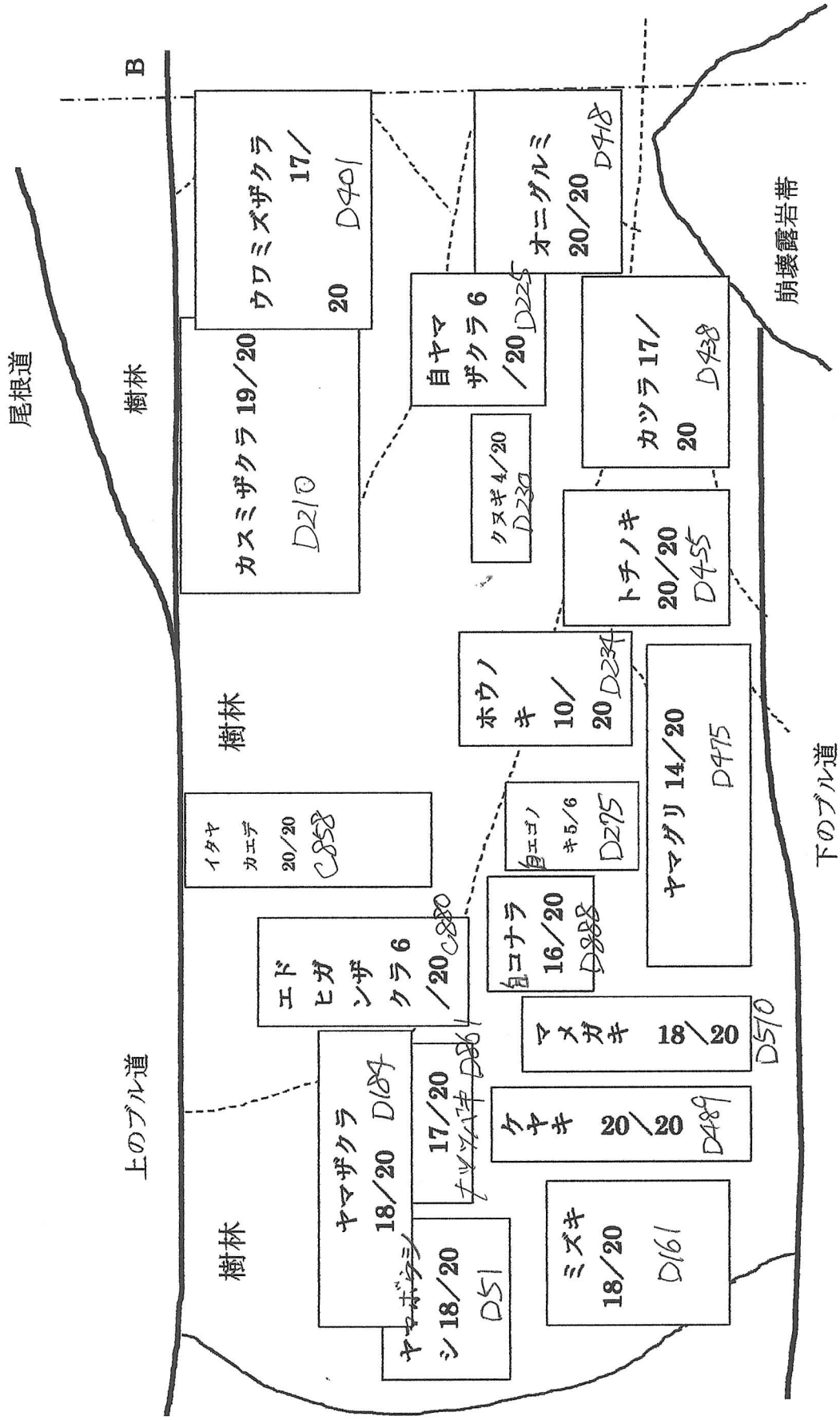


10A 植栽配置図 2011.5.9 調査



CXXX又はDXXX; 標準木

2010年植樹

(10.4.9)

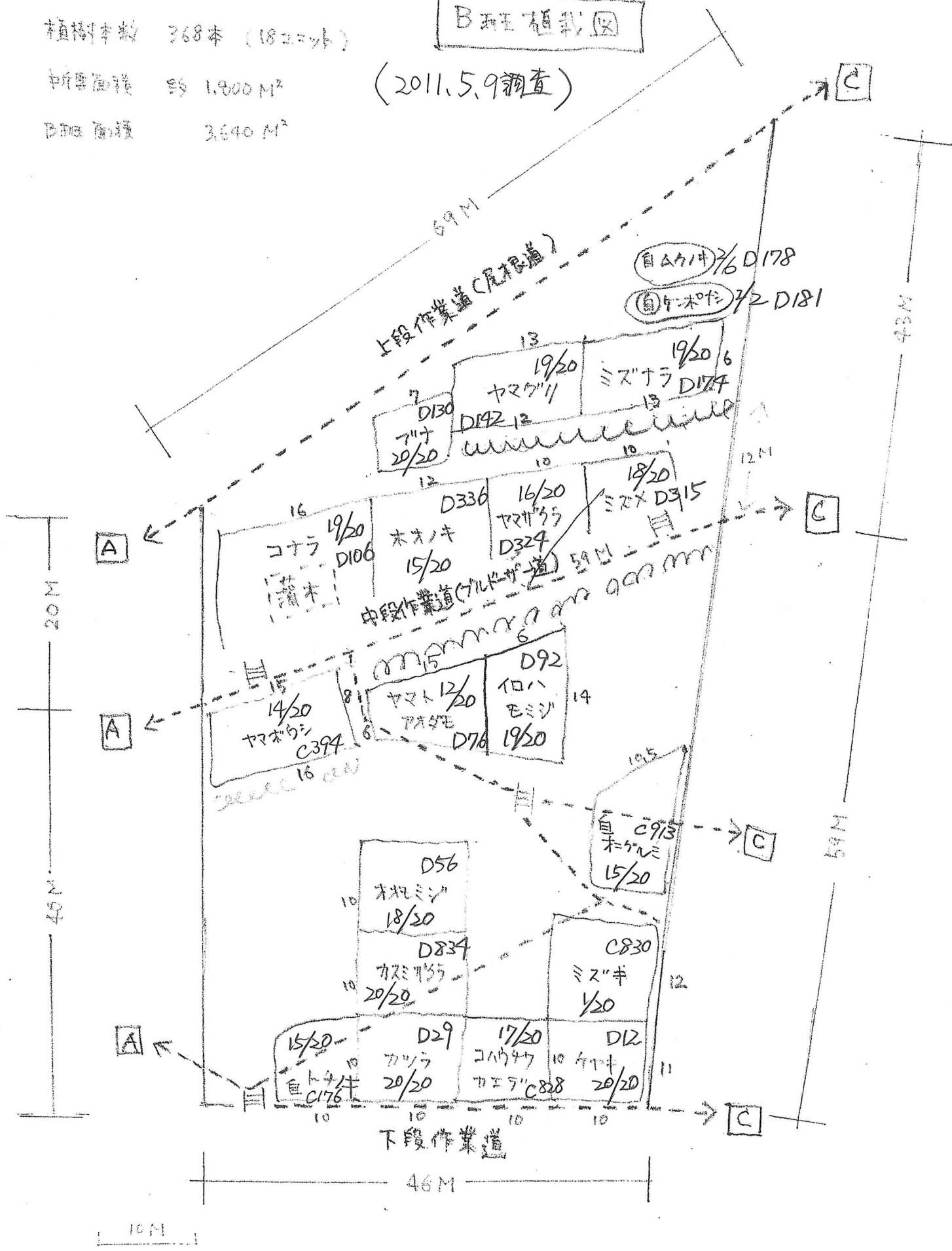
B班植栽図

植樹本数 368本 (182=ツト)

作業面積 約 1,800 M²

D区面積 3,640 M²

(2011.5.9調査)



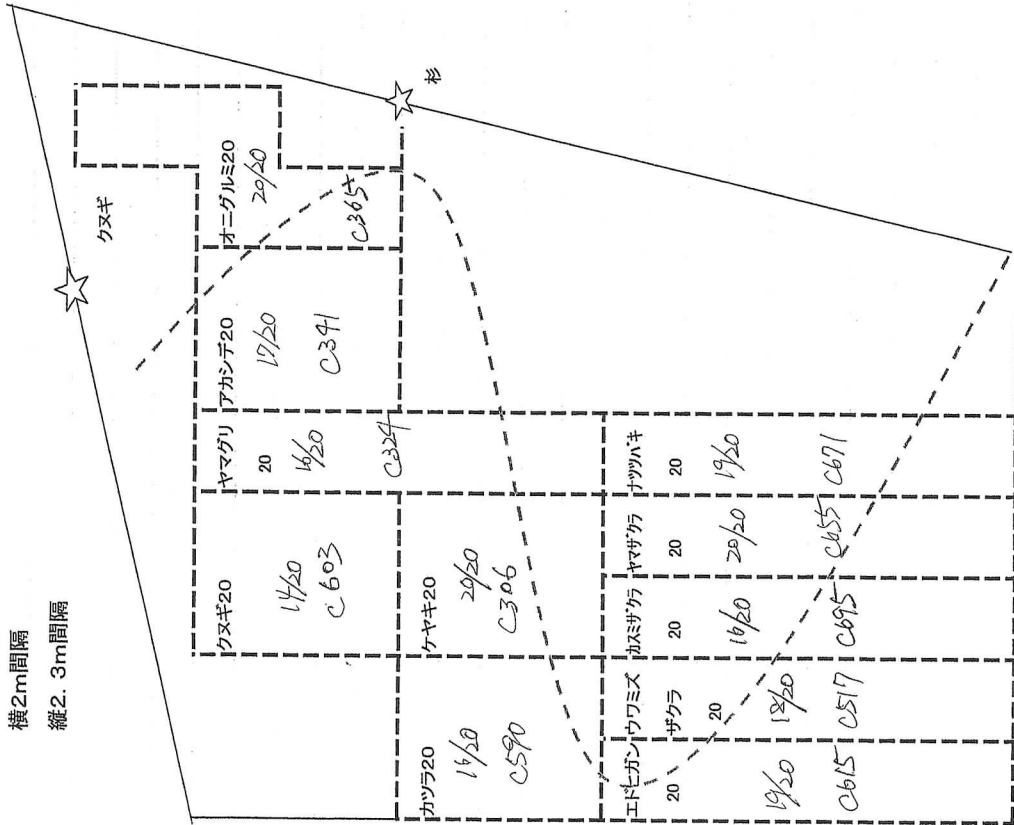
10M

C班2010植栽地(上部) (2011.5.7調査)

H22.4.10 石井

隣の境界から1m離れて篠竹を差す

横2m間隔
縦2.3m間隔

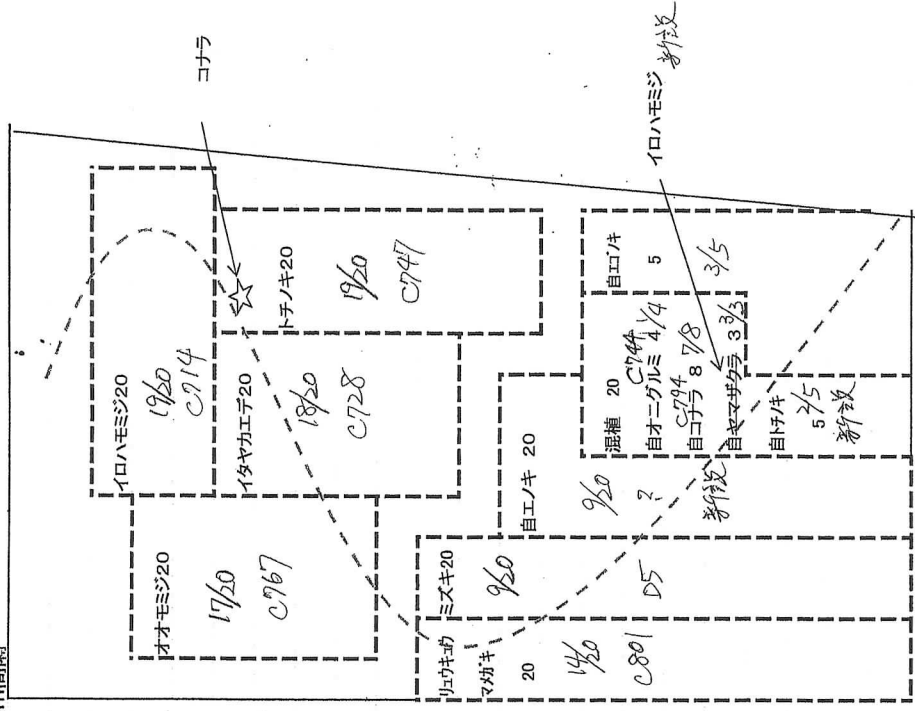


C班2010植栽地(下部) (2011.5.7調査)

H22.4.17 石井

隣の境界から1m離れて篠竹を差す

横2m間隔
縦2.8m間隔



2010年D班植樹マップ

作成・更新 2010年 4月7日

D班 笹原

(2011.5.6調査)

① 区域概要 昨年のA・B班植栽地の横の北西斜面で、幅約30m・上下約115mで、3500㎡弱のエリアです。下部は傾斜がきついので、落石防止の柵(柵)を、20m間隔で作る。

② 植樹の間隔など

植樹は幅2m・上下2.5mの間隔(右図の升目)で、立木・その他障害物があるときは、これを避けてできるだけ基盤の目になるように植えましょう。2000㎡に約400本の植樹となります。

③ 植樹の配置

斜面左側: 立木が多く、日当たりが良くないため、低中木・陰樹を配置する。

斜面右側: 日当たりがいいので、高木・陽樹を配置。

斜面下部: 急斜面で適地選択、活着が問題。

④ 植栽地まで 小下沢林道、逆さ沢林道を経由し、稜線作業道・中段作業道を経由植栽地へ。

⑤ 植栽する樹種と本数

樹種	本数	樹高	耐陰	適地	成長
1 アカシデ	20	高 25	小	斜面中下	やや遅
2 イロハモミジ	20	低 15	大	尾根近	遅い
3 ウワミズザク	20	中 20	大	斜面下部	早い
4 オオモミジ	20	低 13	大	尾根近	遅い
5 オニグルミ自	20	高 30	中	谷近	やや早
6 カスミザクラ	20	高 25	中	斜面下部	早い
7 カツラ	20	高 35	大	谷近	早い
8 ケヤキ	20	高 30	中	斜面下部	中
9 コナラ	20	高 25	小	斜面	中
10 コハウチワカ	20	低 10	大	尾根近	遅い
11 トチノキ自	20	高 30	中	谷近	やや早
12 ブナ	20	高 30	中	緩斜面	遅い
13 ホウノキ	20	高 30	小	斜面下部	早い
14 ミズキ	20	中 20	小	谷近	早い
15 ミズナラ	20	高 35	小	斜面中下	中
16 ミズメ	20	高 25	小	谷近	遅い
17 ヤマザクラ	20	高 25	中	斜面下部	早い
18 ヤマトアオダ	20	中 20	小	谷近	やや遅
19 ヤマボウシ	20	低 10	小	緩斜面	遅い
20 自エノキ	5	高 25	小	斜面	中
21 自オニグルミ	4	高 30	中	谷近	やや早
22 自ケンポナシ	3	高 25	小	谷近	早い
23 自トチノキ	7	高 30	中	谷近	やや早
24 自ムクノキ	6	高 30	小	斜面下部	中
25 自ヤマザクラ	4	高 25	中	斜面下部	早い
合計	409				
うち自家苗	29				

⑥ 植樹手順

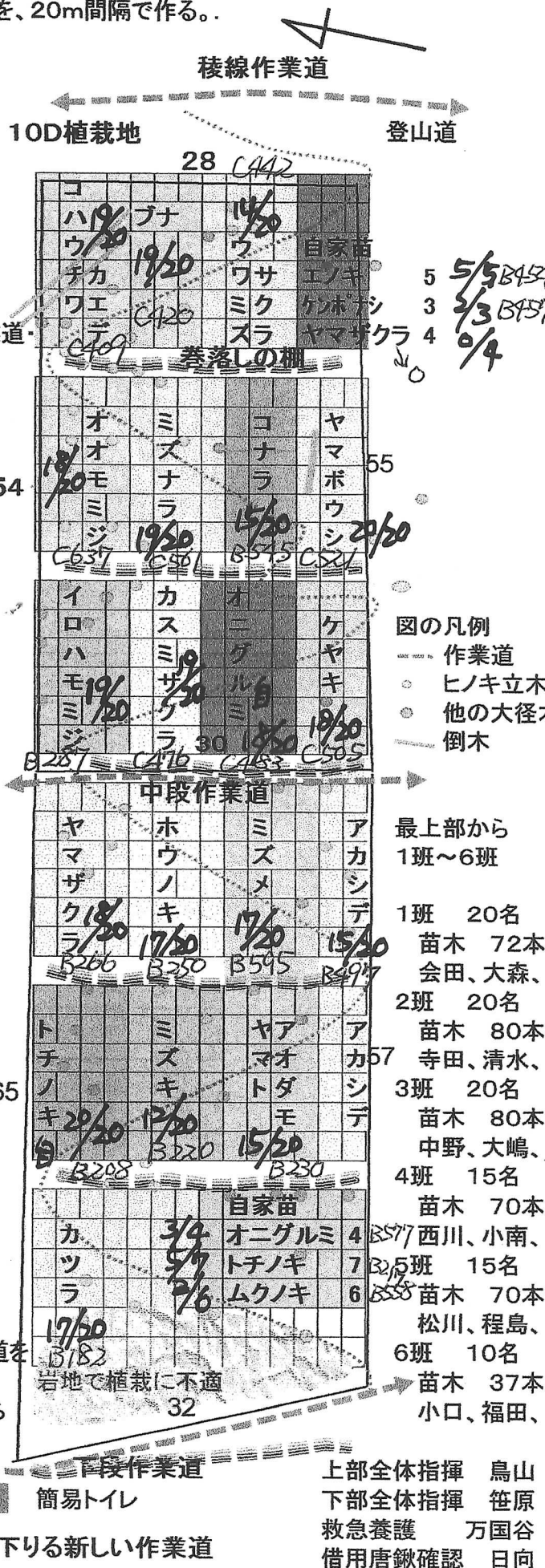
会員以外の120人を6班に分けます。初心者3グループ、経験者(登山も含む)3グループとし、前者を上部植樹、後者を下部植樹とする。

各グループには、3~4名の会員をつけ、上部は稜線作業道を下部は中段作業道から登り、到着したら昼食を取る。

30分休憩後、各グループは唐鍬6本及び必要な苗木を持ち植栽エリアに移動し、植え方を指導し、植樹開始。

下部は傾斜がきついので、落石・滑落がないよう十分注意のこと。14時30分までには終了のこと。

植樹が終わったら、各班ごと借用唐鍬、人員の点呼を行い、上部は中段、下部は新設の作業道から帰途



図の凡例
 --- 作業道
 ○ ヒノキ立木
 ● 他の大径木
 --- 倒木

最上部から
 1班~6班
 1班 20名
 苗木 72本
 会田、大森、
 2班 20名
 苗木 80本
 寺田、清水、
 3班 20名
 苗木 80本
 中野、大嶋、
 4班 15名
 苗木 70本
 西川、小南、
 5班 15名
 苗木 70本
 松川、程島、
 6班 10名
 苗木 37本
 小口、福田、

上部全体指揮 鳥山
 下部全体指揮 笹原
 救急養護 万国谷
 借用唐鍬確認 日向